

一の宮っ子

第41号

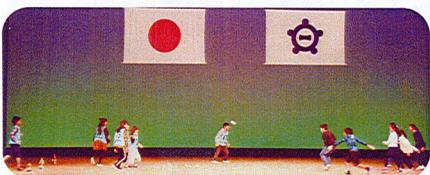
発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市社会福祉センター
思いやり会館内・2階
一宮市桜1丁目12番1号
TEL 0586-73-0356
FAX 0586-64-5957

平成31年3月19日

ホームページ「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>

お知らせ 平成31年4月1日から下記のとおり移転をします。
一宮市栄3丁目1番2号尾張一宮駅前ビル4F (社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024 FAX 0586-85-7025

と合一 ま上とつスバま足後すちり負表ず「も高の今とり会空
い戦源次しが盛たをラ先やは。な、け者つ新ま練学子回てもは子私
う「平のたりりりとンでつ片最い誰たと新聞ず



▲ 源平合戦

私たち北方町連区の青空子ども会と双葉子ども会は、一宮市の北部にあり、学校と町が連けいしてとても仲の良い地域です。今回の遊びの発表は二つの子ども会が協力しあい高学年16人が集まり何度も練習を重ねました。

まず最初に発表した「新聞遊び」は一人一枚ずつ新聞の上に乗り、代表者と同じやんけんをして負けたら新聞を半分折り、誰が一番新聞から落ちないかを競うゲームで

北方町連区 双葉子ども会

あそびの発表

新年子ども会大会

ぼくは、子ども会の行事を毎回とても楽しみにしています。ですが、新年度子ども会大会で、今伊勢町連区の代表として参加すると聞いて、一気に緊張してしまいました。また、出町子ども会と下町子ども会が合同で発表するので、しつかり協力できるか心配になります。

今伊勢町連区 下町子ども会
六年 谷本 琳太郎

本番は想像よりも会場が広くてびっくりしましたが、みんなで助け合つて一つのことを完成させた達成感を味わうことができてとても貴重な経験になりました。

本番はやつぱり緊張しましたが、発表を通して仲間とのつながりの喜びや大きさ、人に伝える事の難しさや、その方法を学び、六年間での心に残る思い出になりました。

す。二つ目は、「まねきねボディーパークション」です。代表の子が、体のどこかをたたいてリズムを作り出し、それをみんなでまねをする遊びです。この遊びを、どうしたらお客様に分かりやすく楽しく発表できるかを話し合い、練習を重ねました。練習が始まるとすぐに出町と下町は仲良くなり、ぼくは練習がとても楽しみになりまし
た。



▲ うで輪投げ



▲ 言葉探しゲーム

かべ新聞 優秀賞

今伊勢町連区 西山之小路子ども会

六年 長屋 帆希



ぼく達の子ども会は、六年生を中心に壁新聞を作りました。全員で78人と多いのでみんなが主役になるはどうしたら良いのか考えるのが難しかったです。

みんなが参加出来る事を考えて、小さな紙に将来の夢を書いてもらい、その紙をぼく達が住んでいる山の小路から虹に乗せ、大空に向かって大きく飛び出すイメージで張りつけていきました。丘の上にはみんなの夢が叶うようにクローバーを貼りました。138タワーを作つたり、いちみんをイメージした飛行船も浮かばせました。

ぼく達の壁新聞は写真なども無いし、決して派手なものではありません。ですが、西山之小路子ども会全員の大切な想いが込められたとてもキレイな壁新聞が出来上りました。

ぼく達の大好きな壁新聞が優秀作品になつたと知つてとてもうれしかったです。みんなで一生けん命作つて本当に良かつたと思いました。

今年は六年生の6人がかじをとり、たくさんの新しい思い出が加わりました。一致団結の結果、福祉週間行事の長縄とび優勝、ビーチバレー優勝、そして今回のかべ新聞優秀賞と順調に航海を進めています。

このまま三月まで、みんなで力を合わせてたくさんのがHAPPYをみつけて、次の船員さん達へかじを渡したいです。

今伊勢町連区 下町子ども会
六年 谷本 琳太郎



毎年高学年が中心となつて作つているかべ新聞。ぼくは今年六年生なので今まで以上に気合いが入りました。

二月頃から色々な案を考え、決まったのが一そつの

船をモチーフにした作品です。下町子ども会、船員28名と幸せを探すお手伝いをしてくれる『いちみん』に乗つてしまい、船の帆には、昨年できた青のユニフォーム下町Sマーク入りのカードをはりました。そこに一人一人、今、幸せだと思うことを記し、『BE HAPPY』楽しみながら新しい幸せを探しに行こう

という願いをこめました。

今年は六年生の6人がかじをとり、たくさんの新しい思い出が加わりました。一致団結の結果、福祉週間行事の長縄とび優勝、ビーチバレー優勝、そして今回のかべ新聞優秀賞と順調に航海を進めています。

みんなで協力して作ったこのかべ新聞が入賞できたと聞いて、とてもうれしかったです。

今回出来上がつたかべ新聞は見やすく、読みやすい作品になつたと思います。

みんなで協力して作ったこのかべ新聞が入賞できたと聞いて、とてもうれしかったです。

北方町連区 曽根伸よし子ども会
六年 濱田 菜帆



私達のかべ新聞は子ども会の六年生と役員のお母さん達にもアドバイスを頂きながら完成させました。はじめは何から作つて良いのか分かりませんでしたが、コツをつかんでいくうちに段々とやる気が出てきて、作り上げることが出来ました。

楽しく年間行事をのせられるよう、ルーレットのデザインで、最初の四月は早く仲良くなれるように、新一年生のお友達の顔写真をのせました。夏のキックベール大会では優勝出来た思い出に、冠を飾つてみました。たくさんの文字を書き入れ、喜びを表し、

その他の行事も写真や絵を使って楽しかつたことを表現しました。イラストの部分では、絵の得意なお友達が頑張つて描いてくれました。工作部分では、みんなで文字を切り抜いたりして集中力が必要でした。

今回出来上がつたかべ新聞は見やすく、読みやすい作品になつたと思います。

みんなで協力して作ったこのかべ新聞が入賞できたと聞いて、とてもうれしかったです。

大和町連区 宮地一丁目子ども会
六年 川野 陽偉



ぼくは、今回初めて壁新聞というものを作りました。壁新聞のイメージが、ぼくの中では難しく、面白くないものだったので、最初は面倒くさくてやりたくないなど思ってばかりでした。でも、公民館に行くと、想像していた以上に壁新聞作りに集まつていて、みんな協力的なんだなと気付きました。すると、何だからやる気が出できました。やつているうちに夢中になつていました。低学年の子も、できる事は進んでやつていましたし、高学年は工夫をしたりアイデアを出しました。ぼくはギザギザ型の飾りをはさみで切る作業をして、とても根気がいりましたが、絶対にやりとげてやると心の中で思いながら切っていました。

そして終わつてみると「やつてもつまらない」ではなく「やつて良かつた」と思えました。一人一人の力を合わせたら、作る事が何倍も良くなつたり、面白くなつたりするし、一生けんめい取り組めば、楽しくなるということを学びました。力を合わせる楽しさ、がんばつて作る努力、この二つをこれからも大切にします。

西成連区 山王子ども会

六年 尾関 遼



浅野校下には子ども会が10団体あります。子どもの人数は多い所や少ない所と色々です。

各子ども会でいろんな行事があります。歴史のある芝馬祭、れんげ畠を使ってゲームをしたりするれんげ祭など、町内の方々に助けてもらいながら行事をもり上げます。

かべ新聞を作るにあたり、行事ごとにテーマを分け、記事を作る子ども会、レイアウト担当の子ども会に分けました。浅野校下では毎年浅野公園でつつじ祭りという大きなお祭りがあります。ぼくは、そのつつじをイメージして、文字を作成しました。作成中は、文字をカッターで切り取り、折り紙をいねいにおるなど、両親の助けもあって、作れました。そのかべ新聞が入賞したと聞いてうれしかったです。

子ども会での行事も残りわずかですが、楽しく過ごしたいと思います。



かべ新聞を作るにあたり、行事ごとにテーマを分け、記事を作る子ども会、レイアウト担当の子ども会に分けました。浅野校下では毎年浅野公園でつつじ祭りという大きなお祭りがあります。ぼくは、そのつつじをイメージして、文字を作成しました。作成中は、文字をカッターで切り取り、折り紙をいねいにおるなど、両親の助けもあって、作れました。そのかべ新聞が入賞したと聞いてうれしかったです。

他のブースにも楽しい体験や、回収ボランティア紹介もあったのですが、少しだけ古切手を持参したら、ブースの方があriadと笑顔で言つて下さつて、うれしかったです。

楽しく、貴重な体験がたくさんできましたし色々な活動も知る事ができて良かったです。



▲ 楽しい体験ばかりでした

ほかにも紙皿でおめんを作つたりして、ぼくは絵を描くのが苦手で作りませんでしたが、帰つて姉に作り方を教えたから、喜んでくれたので良かつたなと思いました。

ほかにも紙皿でおめんを作つたりして、ぼくは絵を描くのが苦手で作りませんでしたが、帰つて姉に作り方を教えたから、喜んでくれたので良かつたなと思いました。

開明連区 新田子ども会

三年 青沼 拓己

福祉とボランティア活動展

東海北陸地区子ども会

育成研究協議会

専門委員 西成連区 古池 恵



▲より良い子ども会活動にしていく為に

子ども会会員数の減少、地域
アリーダー約300名の参加で
開催されました。一宮市からは
5名が参加しました。

子ども会会員数の減少、地域
アリーダー約300名の参加で
開催されました。一宮市からは
5名が参加しました。

東海北陸地区子ども会育成研究協議会が、「さあ、どうする
子ども会～ビジョンを描くため
に～」をテーマに6県1市の子
ども会の指導者・育成者・シニ
アリーダー約300名の参加で
開催されました。一宮市からは
5名が参加しました。

とのつながりの希薄化により、
子ども会加入率の低下、価値観
の多様化とともに、子ども会の
運営、育成の本質を問う問題も
解決しなければいけません。そ
の解決策を協議するため4つに
分かれ分科会を行いました。私
の分科会は「地域での子ども会
の必要性を考える」でした。少
子化と習い事、親の理解、協力
不足、育成者のなり手不足を課
題とし様々な意見がきました。

いかに子ども会の
イメージをポジテ
ィブに使っていく
か解決策として親
への研修会や、子
ども会のお試し期
間を設けるなどの
意見が出ました。

今後、「親も子ど
もも楽しむ子ど
も会」を目指し、
地域の大人と保護
者が子ども会活動
の大切さを理解す
ることが必要だと
実感した一日にな
りました。

子ども会会員数の減少、地域
アリーダー約300名の参加で
開催されました。一宮市からは
5名が参加しました。

いかに子ども会の
イメージをポジテ
ィブに使っていく
か解決策として親
への研修会や、子
ども会のお試し期
間を設けるなどの
意見が出ました。

今後、「親も子ど
もも楽しむ子ど
も会」を目指し、
地域の大人と保護
者が子ども会活動
の大切さを理解す
ることが必要だと
実感した一日にな
りました。

子ども会は、子ども達が安
全に楽しく参加でき、それを
サポートする保護者の協力が
あって成り立つものだと思い
ます。今回の研修では、そう
なる為の様々な意見を聞く事
ができ、とても良い機会であ
りましたと私は思います。

私は12年間子ども会の活動
に参加してきましたが、子ど
も会に入つたばかりの頃と今

子ども会指導者

代表研修会

木曽川町連区 玉北子ども会

育成者 馬渕 美智恵

「一年間を振り返り指導者
として感じたこと」をテーマ
に、それぞれ発表し、それに
ついて意見交換をしました。



▲会員数の減少とどう向き合っていくか…

大徳連区 富田寺町子ども会
指導者 日比 悟美

県知事表彰

表彰

11月10日、ウイ
ルあいちで表彰式
が行われました。

4



葉栗連区	土居子ども会
葉栗連区	本郷子ども会
三条連区	五色町子ども会
県子連会長表彰	
大志連区	リーデンスクエア子ども会
向山連区	相生子ども会
大徳連区	うぐいす南子ども会

河辺 三代・古池 恵
田中 正人・大窪 文子
東山奈穂子

では人数も行事の内容も変わ
つけています。特に今は
会員数がだいぶ少なくなつて
きたために毎年何らかの役員
を務める事になります。その
ため昔と違つて役員以外のパ
さん達も参加して下さり
「お母さんとお子さんの子ど
も会」からお父さんも加わつ
た「親子」の子ども会活動が
出来てうれしく思いました。
会員数は減りましたが、親子
の繋がりがもてて、とてもい
い経験をしたと感じました。

では人数も行事の内容も変わ
つけています。特に今は
会員数がだいぶ少なくなつて
きたために毎年何らかの役員
を務める事になります。その
ため昔と違つて役員以外のパ
さん達も参加して下さり
「お母さんとお子さんの子ど
も会」からお父さんも加わつ
た「親子」の子ども会活動が
出来てうれしく思いました。
会員数は減りましたが、親子
の繋がりがもてて、とてもい
い経験をしたと感じました。